京都府大学院医学研究科授業料等助成事業実施要領

1 趣旨

本実施要領は、京都府内の地域医療の充実に資するため、医師確保が困難な区域内にある医療機関において常勤医師として勤務した者で、かつ医療技術の向上のために京都府内の大学院医学研究科で修学しようとする者に対し、入学金及び授業料（以下「授業料等」という。）の助成を行う事業（以下「助成事業」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

2 対象とする医療機関及び大学院

助成事業の対象となる医療機関及び大学院は次のとおりとする。

(1) 医療機関

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、京丹波町、南丹市一部地域（旧日吉町、旧美山町）、木津川市、笠置町、和束町、精華町及び南山城村の区域内にある医療法（昭和23年法律第205号）第1条の5に規定する病院及び診療所（以下「医療機関」という。）

(2) 大学院

京都府公立大学法人京都府立医科大学大学院医学研究科（以下「府立医科大学」という。）及び国立大学法人京都大学大学院医学研究科（以下「京都大学」という。）

3 対象者

助成事業の対象となる医師（以下「対象者」という。）は次に掲げる要件を全て満たす者とする。

(1) 臨床研修（医師法（昭和23年法律第201号）第16条の2第1項に規定する臨床研修をいう。）修了後、2に定める大学院入学までの間に、2に定める医療機関で常勤医師として通算2年間以上勤務した実績を有する者

ただし、京丹波町、南丹市一部地域（旧日吉町、旧美山町）、木津川市、笠置町、和束町、精華町及び南山城村の区域内にある医療機関での勤務実績については、令和元年度以前のものを含めない

(2) 大学院の入学後においても、より高い医療技術の取得や研究を通じて、指導医として地域医療に貢献する若手医師等の育成や支援を行うなど、地域医療の向上に積極的に貢献する意志を有する者

4 対象期間等

助成事業の対象期間及び助成額は、次のとおりとし、予算範囲内において助成を行うものとする。

- (1) 3 (1) の勤務実績（以下「勤務実績」という。）が3年間以上の場合 入学金及び最大4年間分の授業料
- (2) 勤務実績が2年間以上3年間未満の場合 入学金及び最大2年間分の授業料

5 助成の申請

授業料等の助成は、次の申請方法によるものとする。

(1) 府立医科大学に入学した者に係る助成

府立医科大学は、対象者に係る授業料等を免除した上で、授業料等免除にかかる助成金申請書（第1号様式）を知事に提出するものとする。

(2) 京都大学に入学したものに係る助成

助成事業対象者は、授業料等免除に係る助成金申請書（第2号様式）を知事に提出するものとする。

6 助成の決定

知事は前条の申請書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、授業料等の助成額を決定し、その旨を申請者に通知する。

7 その他

本実施要領に定めるもののほか、必要な事項は、知事が別に定めるものとする。

附則

この要領は、平成22年4月1日から適用する。

この要領は、令和4年4月1日から適用する。